エコアクション21

認証・登録番号 0006111

環境経営レポート

株式会社　ショウワ

2022 年度

対象期間 （2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

2023 年 7 月 31 日作成

目　次

１. 組織の概要　P3

２. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日　P4

３. 環境経営方針　P5

４. 環境経営目標　P6

５. 環境経営活動計画、環境経営目標の実績、環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容　P9

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無　P14

7.代表者による全体評価と見直しの結果　P15

1. 組織の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

株式会社　ショウワ
代表取締役　藤田　明弘

(2)所在地　：　認証・登録範囲

本社・工場　神奈川県横浜市戸塚区上矢部町 2013
本社第三工場　神奈川県横浜市戸塚区上矢部町 2006
九州工場　福岡県田川市大字伊加利 1824-21

(3)環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者　　製造本部長　村山　雅己
担当者　　総務部　上田　みつ子
連絡先　電話　　045－811－2320
　　FAX　045－812－4836
　　e-mail　info@showa－parfo. co. jp

(4)事業活動の内容

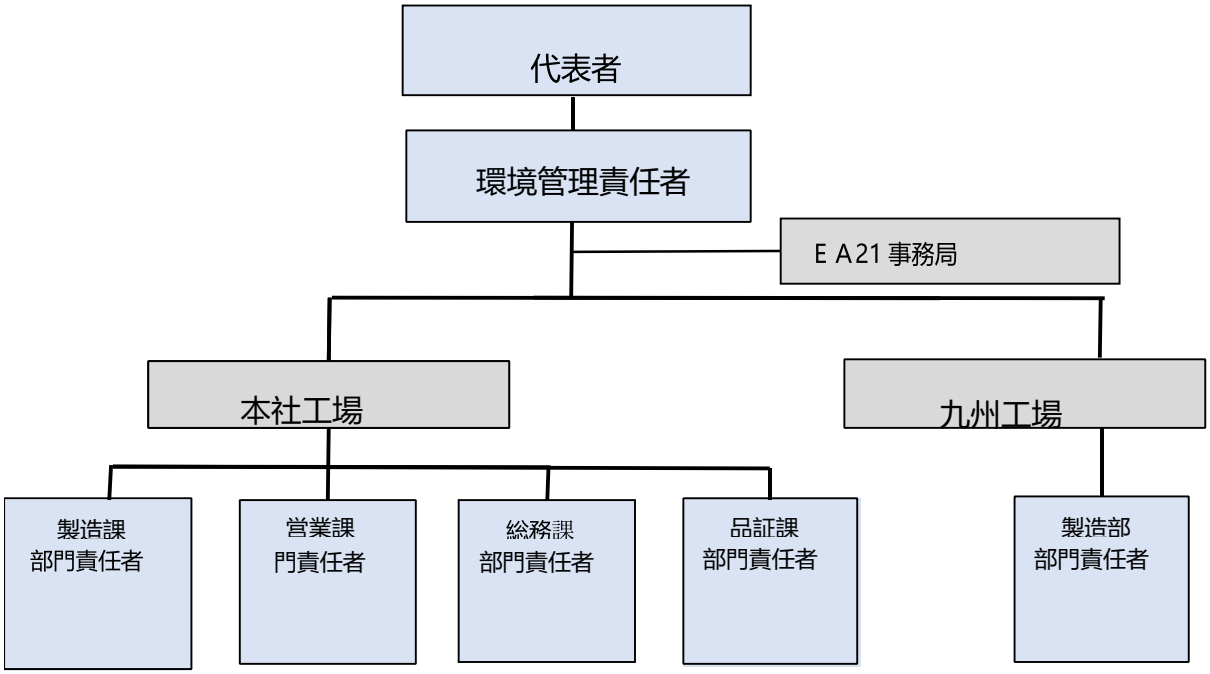
自動車関連及び建築用パネルの鉄・非鉄金属及び有機板材
パフォーレートシート(打抜金網)の製造、
プレス加工・溶接加工・ロール加工・表面処理加工

(5)事業の規模

主要製品生産量:2,762 トン(2022 年)
製品出荷額:20.9 億円(2022 年)

	本社	九州工場	計
従業員数(人)	38	44	82
延床面積(m^2)	1,620	2,180	3,800

(6)環境管理実施体制



当社はエコアクション 21 のガイドラインの要求事項に沿って、環境経営システムを実行し、その結果を評価し、見直しをするため社内各部門の役割を以下のように定める。

① 代表者…当社の環境経営最高責任者として、次の役割を負う。

(イ) 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。当該責任者には、現在の責務に関わりなく兼任で権限を明示する。

(ロ) 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。

(ハ) 環境経営に関する基本理念・長期戦略・基本方針を制定し、基本的な環境目標を設定する。

(ニ) 環境経営システムの構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要があれば改訂を指示する。

② 環境管理責任者…環境経営システム管理責任者として、次の役割を負う。

(イ) 環境経営に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために、環境経営に関する指示を部門長にする。

(ロ) 環境経営システムの構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのためにその構築・運用に関する情報を最高責任者に報告する。

③ EA21 事務局…環境活動を効果的に運用・整備する。

④ 部門長…自己の管理範囲において、全員参加による環境経営システムの運用管理に責務を負い、部門内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る。

2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

(1) 対象範囲

1.(2)及び(4)に記載

(2) レポートの対象期間及び発行日

表紙に記載

3. 環境経営方針

基本理念

当社は、自動車関連・建築用パネル及びその他のパーフォレーシート（打抜金網）の製造、プレス加工、溶接加工の工場として常に環境問題を認識すると共に環境経営システムを構築・運用することにより、全社員で自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

基本方針

1、 環境関連法規、条例及びその他の規制を遵守し、環境保全に取り組みます。

2、 環境経営目標を定め、定期的に見直しを行い継続的改善に努めます。

3、 環境経営システムを運用するに当たり、以下を目標に展開します。

イ、資源・エネルギーの消費を適正化し CO_2排出の削減に努めます。

・電力使用量の削減

・資源（ガソリン・LPG 等）使用量の削減

ロ、廃棄物の削減と資源としての再生利用を促進します。

・一般及び産業廃棄物の分別の徹底

・リサイクル率の向上

ハ、水資源投入量の適正化に努めます。

・水使用量の削減

ニ、グリーン購入の推進

ホ、生産活動による歩留り向上

4、本方針を従業員に周知徹底するとともに、環境活動の取組状況を環境経営レポートとして公表します。

2010 年 10 月 30 日　制　定

2020 年　3 月 31 日　見直し

株式会社　ショウワ

代表取締役　藤田　明弘

4. 環境経営目標

（本社・工場）

※CO_2排出係数　0359

環境経営目標	単位	基準（実績）	中期目標		
		2019 年度 4月～3月	2020 年度 4月～3月	2021 年度 4月～3月	2022 年度 4月～3月 年度目標
二酸化炭素・排出量削減	Kg-CO_2/千円	0.170 195,338/Co_2	1%削減 0.168 193,384/Co_2	1%削減 0.168 193,384/Co_2	1%削減 0.168 193,384/Co_2
電力使用量削減	kWh/千円	0.444	1%削減 0.439	1%削減 0.439	1%削減 0.439
ガソリン使用量削減	L	3,362	1%削減 3,328	1%削減 3,328	1%削減 3,328
灯油使用量削減	L	対象外			
LPG使用量削減	Kg	1,468	1%削減 1,453	1%削減 1,453	1%削減 1,453
産業廃棄物排出量削減	Kg	7,555	1%削減 7,479	2%削減 7,404	3%削減 7,328
上水使用量削減	m^3	457	1%削減 452	1%削減 452	1%削減 452
ｸﾞﾘｰﾝ購入	円	115,527	1%増加 116,399	2%増加 117,552	3%増加 118,704
歩留り向上 （歩留りロスの低減）	%	0.6	2%低減 0.588	3%低減 0.582	4%低減 0.576

（九州工場）

※CO_2排出係数　0.516

環境経営目標	単位	基準（実績）	中期目標		
		2019 年度 4月～3月	2020 年度 4月～3月	2021 年度 4月～3月	2022 年度 4月～3月 年度目標
二酸化炭素 排出量削減	Kg-CO_2/ 千円	0.331 243,414/Co_2	1%削減 0.328 240,979/Co_2	1%削減 0.328 240,979/Co_2	1%削減 0.328 240,979/Co_2
電力 使用量削減	kWh/ 千円	0.627	1%削減 0.621	1%削減 0.621	1%削減 0.621
ガソリン 使用量削減	L	5,184	1%削減 5,132	1%削減 5,132	1%削減 5,132
灯油 使用量削減	L	322	1%削減 319	1%削減 319	1%削減 319
産業廃棄物 排出量削減	Kg	3,950	1%削減 3,911	2%削減 3,871	3%削減 3,832
上水 使用量削減	m^3	784	1%削減 776	1%削減 776	1%削減 776
ｸﾞﾘｰﾝ購入	円	154,071	1%増加 155,612	2%増加 157,152	3%増加 158,693
歩留り向上 （歩留りロスの低減）	%	0.178	2%低減 0.174	3%低減 0.173	4%低減 0.171

（全社）

環境経営目標	単位	基準（実績）	中期目標		
		2019 年度 4月～3月	2020 年度 4月～3月	2021 年度 4月～3月	2022 年度 4月～3月 年度目標
二酸化炭素 排出量削減	Kg-CO_2 /千円	0.233 438,752/Co_2	1%削減 0.230 434,364/Co_2	1%削減 0.230 434,364/Co_2	1%削減 0.230 434,364/Co_2
電力 使用量削減	kWh/ 千円	0.515	1%削減 0.509	1%削減 0.509	1%削減 0.509
ガソリン 使用量削減	L	8,546	1%削減 8,460	1%削減 8,460	1%削減 8,460
灯油 使用量削減	L	322	1%削減 319	1%削減 319	1%削減 319
LPG 使用量削減	Kg	1,468	1%削減 1,453	1%削減 1,453	1%削減 1,453
産業廃棄物 排出量削減	Kg	11,505	1%削減 11,390	2%削減 11,275	3%削減 11,160
上水 使用量削減	m^3	1,241	1%削減 1,228	1%削減 1,228	1%削減 1,228
ｸﾞﾘｰﾝ購入	円	269,318	1%増加 272,011	2%増加 274,704	3%増加 277,397
歩留り向上 （歩留りロスの低減）	%	0.389	2%低減 0.381	3%低減 0.377	4%低減 0.373

本社・工場、九州工場共通事項

＊ 化学物質の使用は無し
＊ 自らが生産する製品・サービスに関しては歩留りの向上
＊ グリーン購入を実施するためのシステムを検討する

5. 環境経営活動計画、環境経営目標の実績、環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容

（本社工場）

○ ：目標達成、 ×：目標未達

環境経営活動	取組結果とその評価（2022 年 4 月～2023 年 3 月）			
	環境経営目標	実績	達成区分	評価及び次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量削減（Kg－$CO_{2/千円}$） CO_2排出係数 0.359	1%削減 0.168 193,384CO_2	0.151	○	・電気の削減が大きい ※排出量 164,739/CO_2
1-1.電力使用量削減（kWh/千円） ・不在時等消灯の徹底 ・ﾌｨﾙﾀｰの掃除 ・ﾗﾍﾞﾙを貼り消灯徹底 ・ｴｱｺﾝの温度設定	1%削減 0.439	0.384	○	・ｴｱｺﾝの設定温度を守り、人がいない場所・時間の消灯を徹底した ※使用量 418,122/kWh
1-2.ｶﾞｿﾘﾝ使用量削減（L） ・電車での出張 ・省エネドライブ ・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの実施	1%削減 3,328	3,697	×	・営業車両の増加に伴い使用量増加 ・渋滞回避ルートの選択 ・エコ運転実施

1-3.LPG 使用量削減 （Kg） ・ﾌｫｰｸﾘﾌﾄの点検整備実施及び低速運転	1%削減 1,453	1,186	○	・稼働日数減少により使用量減少
2.廃棄物排出量削減(Kg) ・資源と廃棄物の分別徹底 ・社内ｺﾋﾟｰは裏紙使用 ・伝達事項はメール	3%削減 7,328	7,440	×	・油付着の段ボール箱の排出量が多かったため未達。選別をしリサイクル実施
3.上水使用量削減 （㎥） ・水場にﾗﾍﾞﾙを貼り無駄遣いを防止 ・漏れ点検	1%削減 452	412	○	・節水意識の向上
4. グリーン購入(円) ・備品購入の際エコ商品か確認	3%増加 118,704	129,860	○	・新規購入時グリーン購入を選択
5.歩留り向上(%) ・手順書の見直し ・教育により作業者の意識を変える	4% 低減 0.576	0.463%	○	・作業員の安定的な技術提供による

（九州工場）

○ ：目標達成、 ×：目標未達

環境経営活動	取組結果とその評価(2022 年 4 月～2023 年 3 月)			
	環境経営目標	実績	達成区分	評価及び次年度の取組内容
1. 二酸化炭素 排出量削減 （Kg－$CO_{2/千円}$） CO_2排出係数 0.516	1%削減 0.328 240,979CO_2	0.309	○	・作業内容を管理、把握した上での生産管理ができ、無駄が減り効果がでた。また各自不必要なｴｱｰﾌﾞﾛｰを行わない等コンプレッサーの稼働を控えた行動が出来た ※排出量 298,503/CO_2

1-1.電力使用量削減(kWh/千円) ・不在時等消灯の徹底 ・ﾌｨﾙﾀｰの掃除 ・ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ実施 ・ｴｱｺﾝの温度設定	1%削減 0.621	0.575	○	・未使用時の照明、空調等、徹底した ・部分的なエリアの消灯も効果的だった ※使用量　554,672/kWh
1-2.ｶﾞｿﾘﾝ使用量削減(L) ・車両点検整備 ・省エネドライブ ・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの実施 ・ﾌｫｰｸﾘﾌﾄの省エネ運転	1%削減 5,132	3,902	○	・効率を考え、客先訪問・営業活動を実施した ・エコドライブ、安全運転を継続
1-3. 灯油使用量削減(L) ・使用時間と温度の設定 ・不在箇所は消火	1%削減 319	636	×	・長時間の使用や不在時の消火の徹底がなされていなかった ・出勤、退社時間の管理も必要 ・使用時間の短縮、不在時の消火
2.廃棄物排出量削減(Kg) ・資源と廃棄物の分別徹底	3%減 3,832	3,060	○	・再利用、分別など皆が関心を持ち行動できた 引き続き向上を目指す
3.上水使用量削減　(㎥) ・水場にﾗﾍﾞﾙを貼り無駄遣いを防止 ・漏れ点検	1%削減 776	830	×	・水使用による材料(完成品)の洗浄が多くあった ・工場内の作業者数増加
4. グリーン購入(円) ・備品購入の際エコ商品か確認	3%増加 158, 693	88, 332	×	・経費削減のため備品購入を控えた
5.歩留り向上(%) ・手順書の見直し ・教育により作業者の意識を変える	4%低減 0.171	0.125	○	・材料の歩留まりを考え購入

（全社）

○ ：目標達成、 ×：目標未達

環境経営活動	取組結果とその評価（2022 年 4 月～2023 年 3 月）			
	環境経営目標	実績	達成区分	評価及び次年度の取組内容
1.二酸化炭素 排出量削減 （Kg－$CO_{2/千円}$）	1%削減 0.230 434,364CO_2	0.224	○	・CO_2の大半が電気であり、使用量減少により達成 ※排出量 463,244/CO_2
1-1.電力使用量削減（kWh/千円） ・不在時等消灯の徹底 ・ﾌｨﾙﾀｰの掃除 ・ﾗﾍﾞﾙを貼り、消灯徹底 ・ｴｱｺﾝの温度設定	1%削減 0.509	0.471	○	・夜勤生産やエアコンの設定温度を守り、またｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰの終了時間のタイマー設定変更と消灯の徹底により達成 ※使用量 972,794/kWh
1-2.ｶﾞｿﾘﾝ使用量削減（L） ・車両点検整備 ・省エネドライブ ・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの実施 ・ﾌｫｰｸﾘﾌﾄの省エネ運転	1%削減 8,460	7,599	○	・効率的な営業活動及びｴｺ運転実施
1-3. 灯油使用量削減（L） ・使用時間と温度の設定 ・不在箇所は消火	1%削減 319	636	×	・ストーブの使用量増加 ・使用時間の見直しを行う
1-4.LPG 使用量削減 （Kg） ・ガスの元栓OFF	1%削減 1,453	1,186	○	・エコ運転実施 ・稼働日数の減少により使用量減少
2.廃棄物排出量削減（Kg） ・資源と廃棄物の分別徹底	3%減 11,160	10,500	○	・段ボールの再利用を実施

3.上水使用量削減 （㎥） ・水場にﾗﾍﾞﾙを貼り無駄遣いを防止 ・漏れ点検	1%削減 1,228	1,242	×	・材料の洗浄が多くあった ・掃除にいつもより多く使用 ・節水意識の向上を図る
4. グリーン購入（円） ・備品購入の際エコ商品か確認	3%増加 277,397	218,192	×	・経費削減のため購入を控えた ・現在購入商品をグリーン購入出来るか検討する
5.歩留り向上（%） ・手順書の見直し ・教育により作業者の意識を変える	4% 低減 0.373	0.294	○	・材料手配時、歩留まり効率を考えた手配が出来た。また作業員の安定的な技術提供により達成

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規制は次のとおりである。

適用法規制	適用される事項（施設、物質、事業活動等）	法的要求事項の内容及び基準	遵守記録	確認
公害防止組織法	騒音発生施設	公害防止管理者の選任	届出提出	○
騒音・振動規制法	機械プレス、空気圧縮機等	特定施設の届出	届出提出	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物（金属クズ、廃プラ、廃油等）	産業廃棄物の収集・処理委託基準の遵守	処理委託契約書・ﾏﾆﾌｪｽﾄ	○
消防法（危険物）	少量危険物貯蓄施設、灯油	火災の予防	危険物取扱と火災予防対応	○
横浜市生活環境の保全等に関する条例	指定事業所	指定事業所の届出	届出提出	○
フロン排出抑制法	空調機	簡易点検	点検表	○
浄化槽法（九州工場）	浄化槽	清掃及び点検 水質検査	点検表	○

環境関連法規制の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘及び外部からの苦情等も過去 3 年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し日時・場所		2023年7月21日(金) 10:10～12:00　場所：会議室			
参加者		〖代表者〗藤田 明弘（代表取締役） 〖EA-21 責任者〗村山雅己（製造本部長） 〖EA-21 事務局〗上田 みつ子(経営管理本部長)			
インプット情報		情報内容・資料等			社長による指示事項
①環境への負荷の自己チェック結果		2023/5/8作成の環境への負荷取りまとめ表にて説明			無
②環境への取り組みの自己チェック結果		2023/5/13作成の環境への取り組の自己チェック結果にて説明			無
③環境関連法規制第一種表/遵守状況のチェック		遵守状況の説明			法令遵守及び環境配慮の向上を引き続き図る
④環境目標の達成度(主要項目)	2022/04/01～	本社工場	九州工場	合計	
	2023/03/31結果	目標値/実績値	目標値/実績値	目標値/実績値	目標に達成に向けて取り組んでいるが未達の部分もある。次年度はさらに環境負荷の低減を目指し取り組んでいきたい
	CO_2(Kg-CO_2/千円)	0.168/0.151 ○	0.328/0.309 ○	0.230/0.224 ○	
	電力(kWh/千円)	0.439/0.384 ○	0.621/0.575 ○	0.509/0.471 ○	
	ガソリン(L)	3,328/3,697 ×	5,132/3,902 ○	8,460/7,599 ○	
	灯油(L)	―	319/636 ×	319/636 ×	
	LPG(Kg)	1,453/1,186 ○	-	1,453/1,186 ○	
	廃棄物(Kg)	7,328/7,440 ×	3,832/3,060 ○	11,160/10,500 ○	
	上水(㎥)	452/412 ○	776/ 830 ×	1,228/1,242 ×	
	グリーン購入(円)	118,704/129,860 ○	158,693/88,332 ×	277,397/218,192 ×	
	歩留り工場(%)	0.576/ 0.463 ○	0.171/ 0.125 ○	0.373/0.294 ○	
⑤環境活動計画の実施状況		環境活動計画及び結果について説明			無
⑥教育・訓練実施結果		環境教育については都度(朝礼・会議・打合せ・・)実施			無
⑦苦情を含む外部の利害関係		環境に関するクレーム、苦情等は無			無
⑧緊急事態の準備及び訓練		三鈴防災工業（株）米田様指導により消火訓練実施(2023年03月9日)			無
⑨問題点の是正・予防処置の		環境目標未達項目について説明			無
⑩環境関連文書・記録の作成・		環境レポートにて説明			無
社長による指示事項	①環境方針	変更の必要なし			
	②環境経営目標	中期目標の見直しをすること			
	③環境活動計画	引き続き原単位での評価のこと			
	④環境経営システム	変更の必要なし			

2023年7月21日
代表取締役　藤田 明弘